

開講年度・学期	2017年度・前期	授業形態	講義
科目名	公法特講(現代社会と税法実務)	科目ナンバー	JAPUB2210
英語表記	Special Lecture on Public Law(The Contemporary Society and Tax Law Practice)	担当教員	近藤 雅人 他
単位数	2		

### 科目の主題

公法特講(現代社会と税法実務)

### 授業の到達目標

税をめぐる実務の現場では、法律や通達の解釈、あるいは事実認定を巡って、課税庁と納税者の主張が時に対立する。本寄附講座は、租税法の基礎を勉強した学生を対象に、主要な事例を通じて、租税法の解釈適用に関する争点を取りあげるとともに、その争点を税法の専門家である税理士の視点で掘り下げることを第一の目的とする。

また、毎年の税制改正や、社会保障と税の一体改革における社会保障の財源確保の観点から税率が上げられる消費税制(軽減税率制度を含む)などについても解説するとともに、これからのあるべき税制を学生とともに考えることを第二の目的とする。

さらに、税理士という職業に興味を持つ学生に対して、実際の税理士の業務内容、その役割等について、紹介することを第三の目的とする。

### 授業内容・授業計画

本講座は近畿税理士会寄附講座である。授業計画については次のとおり。

回	開催日	テーマ	担当教員
第1回	4月11日	税理士の業務とその使命	調査研究部長 近藤 雅人
第2回	4月18日	事業所得をめぐる紛争事例	調査研究部員 國田 修平
第3回	4月25日	給与所得をめぐる紛争事例	調査研究部員 森岡 崇
第4回	5月2日	譲渡所得をめぐる紛争事例	調査研究部員 額田 朋子
第5回	5月9日	その他の所得をめぐる紛争事例	調査研究部員 佐々木 栄美子
第6回	5月16日	法人税をめぐる紛争事例	調査研究部員 武智 寛幸
第7回	5月23日	相続税をめぐる紛争事例	調査研究部員 土師 秀作
第8回	6月6日	消費税をめぐる紛争事例	調査研究部員 藤田 隆大
第9回	6月13日	国際課税をめぐる紛争事例	調査研究部員 松井 大輔
第10回	6月20日	租税回避とは	調査研究部員 櫻井 繁樹
第11回	6月27日	税務調査をめぐる紛争事例	調査研究部副部長 田部 純一
第12回	7月4日	税務争訟における税理士の役割	調査研究部員 門田 知也
第13回	7月11日	税制改正のあり方	調査研究部員 前川 武政
第14回	7月18日	申告納税制度と税理士の使命	副会長 石原 健次
第15回		まとめ	調査研究部長 近藤 雅人

<b>事前・事後学習の内容</b> 各講義の約1週間前に、レジユメをWEBサイトに掲載する。事前に内容を確認し、講義に臨むことが望ましい。
<b>評価方法</b> 期末考査は実施しない。各講義後にレポートを提出すること。詳しい採点方法は講義にて説明する。
<b>受講生へのコメント</b> 本講義は、税理士である講師が作成するレジユメを使用し、講義形式により進行する。
<b>教材</b> 特になし
<b>その他</b>
<b>履修可能最低年次</b> 2年次生以上